

## 平成27年度第2回岡山県介護保険制度推進委員会議事要旨

- ◎ 開催日時 平成28年3月17日(木) 15:00～16:30
- ◎ 開催場所 ピュアリティまきび「飛翔」
- ◎ 出席委員 16人出席(うち2人代理出席)

### 1 開 会

### 2 あいさつ(吉田福祉政策企画監)

### 3 議 事(進行:小池会長)

#### (1)介護サービス評価部会委員の追加選任について

○介護サービス評価部会委員に、増田委員が選任された。

#### (2)第6期岡山県介護保険事業支援計画に基づく主な取組の状況等について

(説明:長寿社会課、医療推進課、健康推進課、保健福祉課)

#### 【委員の意見等】

##### ○委員

介護の日の啓発イベントは、介護福祉士会や県社協などが、介護の日の前後にそれぞれ個別に色々な形で行っているが、福祉・介護人材確保対策推進協議会ができていながら、いっしょになってもう少し盛大に、世の中にもっとアピール効果のあるやり方を考えてみてはどうか。

##### ○事務局(保健福祉課)

協議会においても、平成28年度は難しいが、平成29年度あたりから一体化できないか、検討している。

##### ○委員

リハビリテーション専門職による市町村支援について、専門職は病院に所属している場合が多いが、病院の先生方は、介護保険に携わっていないと、地域支援事業のことを御存知ないと思うので、この事業に協力していただくためには、もっとわかりやすく、懇切丁寧な説明がいるのではないかと。

看護師の起業支援事業について、看護師はなるべく看護業務に徹していただき、そのほ

かの、労務管理や、経営マネジメントなどをだれが担うか、そのあたりの検討がもう少し必要ではないか。県南にステーションが集中しているが、地域の需要と供給がマッチしているかどうか、医療同様に介護についても地域のマーケティングをしていかないと、規模拡大とか充実はいいが、今後、高齢者はそんなに増えてこないという状況の中で、場合によっては共倒れが起こることも考えられる。療養病床は、今後、病棟内住まいとか病棟内施設のような類型が生まれ、サービス付き高齢者向け住宅は現在総量規制がなく増加してきている。そのあたりを総合的に考えていく必要がある。

在宅医療推進会議について、どうも言いつ放しの会議という印象があるので、せっかくこれだけの方が参加されているのだから、もっと実をとるような会議にできないか。

認知症サポート医は、医療と介護の連携の推進役となるわけなので、大事なのはサポート医の数ではなく、サポート医がきちんと活動できることである。ひとりの開業医の先生が、診療の合間に抜けて出るとは難しく、サポート医の先生方が初期支援チームに参加できる割合は非常に低い。県医師会でも、次年度に認知症サポート医の集いを初の試みとして開催する予定にしているが、サポート医が十分活動できるようにするための支援が必要であるので、県の応援も賜れればと思う。併せて、サポーターの方の活動の受け皿がないとの指摘もあるので、活動できる場の確保もお願いしたい。

福祉・介護人材について、国の研究所において、介護職員の処遇が学歴や、性・年齢別、経験年数等を含め、総合的に判断したときに、中の上という認定が出され、これを受け、昨年9月の社会保障審議会介護保険部会においては、介護職員の処遇が決して低いわけではないという報告がなされた。しかし、このことはマスコミに伝わっていない。一部の中学の公民の教科書には介護職員の賃金が低くて集まりにくいといった記載がある。恐らく、国民の多くが、介護職員の処遇はかなり低い位置にあると認識していると思うが、それがここ数年変わってきているのも事実なので、そのあたりを含め、マスコミ向けのイベントなど、色々なことが必要ではないか。

#### ○事務局(健康推進課)

認知症サポート医について、大事なのは、その数ではなく、質であったり活動の場であったりということは県でもしっかり認識している。県だけでなく、医師会や家族の会などのみなさんと一緒になっていきたい。

#### ○事務局(長寿社会課)

リハビリテーション専門職による市町村支援については、今後適切に対応してまいりたい。

看護師の起業支援については、できるだけ、県北のほうのステーションのない地域で起業していただける方をお願いしたいと考えている。療養病床や、サービス付き高齢者向け住宅等については、国の動向を見極めながら、次期計画で検討したい。

○事務局(保健福祉課)

福祉・介護人材関係で、マスコミ関係へのアピールとして、今年度介護福祉グランプリや、カイゴ男子・カイゴ女子発掘プロジェクトという形でモデル的な女子、男子を選んでもらうといったイベントを行った。今後も、プラスの方向でのアピールをしていきたいと考えている。

○委員

昨今、介護関係の大学や専門学校でも、高校生の受験者が減っており、また、中高年齢者も、景気が良くなり人材不足となると介護のほうに来る人がいなくなる。先の有料老人ホームの事件などで、かえってイメージを悪くしたということもある。高卒の人に対する奨学金制度や転職者に対する研修費の助成制度などがあれば教えてほしい。

○事務局(保健福祉課)

資料にはないが、そうした事業は各種ある。

今回の国の補正予算で、介護福祉士になるために学校に行く場合の貸付制度の拡充やかつて介護の仕事に就いていた人が介護の仕事に戻ってくる人には再就職の貸付制度を新たに設け、2年間介護の仕事につけば返還が免除されるといった制度もある。

○委員

老人福祉施設協議会では、昨年11月に未来ホールでカイゴ男子・カイゴ女子発掘プロジェクトを開催したが、400名を超える方にきていただき、新聞でも報道されたので予想以上の効果があった。介護福祉士会が福祉会館でイベントをされており、できれば総合的に力を合わせてやることも大切。一方、色々な団体が色々な形で介護月間にイベントをするのも一つの考え方であり、老施協では、学生を招待しての研究発表会や介護で働く人たちのパネル展などの広報活動を行っている。テレビで私の施設が報道されたが非常に反響が大きく、プラスの効果があったと思う。テレビドラマで、介護の現場が24時間就労を強いられるがごとく放送されると、介護福祉士会と介護職員の双方から全く逆の反論がネット上で起こった。いずれにせよ、そうした介護の現場のイメージを変えていかないとだめだ。

○委員

老人保健施設でも新卒者が入ってくることはほとんどなく、介護人材の所得がそれほど低くないということをおアピールしなければならぬと思っており、過去に、県の幹部が県内の高校を回って介護職場の良さをアピールしたことがあったが、またそういうことを考えていた

だくなど、介護の現場で働く人たちが報われるようにしていただきたい。介護人材不足というが、郡部では高齢化率は高くなっているものの、人口も減っているので、施設の入居率は下がってきている。都市部でも空きが出てきており、今後の要介護高齢者数を推計し、本当に必要な施設数を見直さなければならないのではないかと。サービス付き高齢者向け住宅などに人材が流れ、余計に確保が難しくなっている。マスコミを通じ、介護の職に就きたくないようなイメージ作りを是非お願いしたい。

福祉・介護人材マッチング機能強化事業で職場見学ツアーを実施しているが、具体的にどのようなことを行ったのか。

○事務局(保健福祉課)

バスを仕立てて施設を回っている。今年度は5コース設けているが、参加人数が低調である。

○委員

郡部の訪問看護ステーションは職員の不足と利用者の減少で立ち行かなくなっているところが多い。ステーションを立ち上げるのではなく、病院や診療所の外来診療の空き時間に、ナースに訪問看護に出てもらおうといった実践的、具体的方策を考える時期に来ていると思うので、そのあたりを研究していただき、国へ働きかけていただきたい。

○委員

今後、地域包括ケア病床が急増し、そのことが老人保健施設や訪問看護・介護事業のニーズにも影響してくると思うので、地域包括ケア病床がどれだけ増え、どのような役割を持つことになるのか、そのあたりを検討いただきたい。

○委員

訪問看護を起業するだけでなく、地域のニーズを把握して経営マネジメントすることが必要だが、従来そういった能力を看護職が研修する場がなかったため、今回の起業支援事業はとてもありがたい。そのような研修は是非お願いしたい。

規模拡大事業が6事業所に留まったのは残念だが、提出書類が煩雑なため、あきらめた事業所がかなりあったと聞いているので、もう少し簡潔にしていきたい。

(3)その他

第7次岡山県保健医療計画について

(説明:医療推進課)

【委員の意見等】

○委員

医療関係、介護関係の事業者に大きな影響を与えるものだが、消費税増税が不透明な中で、財源的にはかなり厳しく、一方で、医療費と介護費は高齢化の進展とともに増えている。これをどのようにして減らしていくか。なかなか強権的なやり方はできないので、色々なデータを示しながらまとめていくしかないのだろうと思う。

○委員

将来の在宅医療等患者数には、老人保健施設や特別養護老人ホームなども含まれていると思うが、誤解のないように各施設の内訳を示すなど、わかりやすくしてはどうか。

○委員

今後、県北では、老健や特養で空きが出てくる。それをいかに調整していくのか。サービス付き高齢者向け住宅のように自由市場に委ねていてはどうかかわからないような状況の中で、県として、これからの見通しをきちんと見極め、データ等を作成していくことが大切だ。

#### 4 閉 会